

共同獣医学課程の成績評価基準のガイドライン

I. 成績評価の基準

1. 成績評価にあたっては、共同獣医学課程の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる「養成する人材像に求められる具体的な能力（学位授与水準）」を踏まえ、授業科目ごとに「到達目標」を設定し、履修者の「学修成果の質」（達成度）に応じて行うこととする。
2. 原則として、全ての授業科目に相対評価による成績評価を導入する。
3. 相対的成績評価を行う授業科目の成績分布は、「A⁺」及び「A」=10%、「A⁻」及び「B⁺」=30%、「B」及び「B⁻」=40%、「C⁺」及び「C」=20%を目安として成績評価する。
4. 絶対的成績評価を行う授業科目では、具体的な「到達目標」を定め、達成度に応じて評価することとし、成績分布の目安は示さない。
5. 出席率70%未満の受講者は、原則として定期試験等の受験資格を与えず、「F」評価とし、次年度以降再履修しなければならない。
6. 授業科目ごとに適切な「到達目標」が設定されており、当該「到達目標」に基づく成績評価の結果を 学期ごとに共同獣医学課程教務委員会等で検証し、必要に応じて担当教員に「到達目標」の再検討を依頼する。

II. 成績評価の方法

1. 成績評価は、試験結果、レポート評価、成果発表（プレゼンテーション）、学修態度等により行う。
2. 具体的な評価方法は、授業担当教員が定める。

III. シラバスへの記載方法

授業担当教員は、下記の例を参考に「成績評価の基準と方法」をシラバスに明記する。

1. （試験のみによる評価の場合）定期試験（中間、期末等）や授業毎に実施する小テストによって評価する。なお定期試験は、授業の出席率が規定を満たす受講者のみに受験資格を与える。
2. （試験及び授業への参加度等による評価の場合）授業への参加態度（20%）、レポートの内容（30%）、定期試験（50%）によって評価する。レポートについては授業のテーマについての理解の深まりを、定期試験では基礎的な学力を評価する。なお「A⁺」および「A」を合わせた割合は、履修者の上位10%程度を上限とする。
3. （レポートによる評価の場合）授業への参加態度（40%）及びレポートの内容（60%）によって評価する。レポートについては授業のテーマについての理解の深まりを評価する。なお「A⁺」および「A」を合わせた割合は、履修者の上位10%程度を上限とする。
4. （アクティブ・ラーニング科目の場合）(1) 事前課題に対する取組状況（情報収集状況と理解度）、(2) 毎回のグループ討論及びグループ作業における貢献度（積極性・発言内容など）、(3) 発表及び質疑応答の内容（プレゼンテーション技術・論理性・独創性など）、(4) レポートなど提出物の内容によって評価する。
それぞれの評価の比率は(1)=20%、(2)=30%、(3)=30%、(4)=20%とする。